

会 議 録

会議名称	令和8年度第1回大空町社会教育委員の会議	
開催日時	令和8年5月26日（火）	18時30分から 20時10分まで
開催場所	東藻琴農村環境改善センター ホール	
出席者の氏名	(出席委員) ※敬称略 外川範幸、佐藤拓也、大辻雄介、合田秀人、大井徹也、旭利正 長尾美和、植松あゆみ、竹次康人、後藤満晴、竹内大輔、竹内百合加 大槻晶子 (欠席委員) 中原由紀子、原本直也、岩原基之 (教育委員会) 教育長、歌丸参事、山本主幹、南部主査、阿部主査、山口主査 松本主事、片山主事、宮下主事	
傍聴者の数	—	
会議資料の名称	資料1：令和8年度大空町社会教育推進計画（単年度） 資料2：令和8年度委員活動 資料3：社会教育推進方針	
審議内容及び結果	(1) 教育長あいさつ (2) 委員の互選 委員長：大井徹也 副委員長：植松あゆみ、竹内大輔 (3) 議事 ①社会的包摂の実現 ・中期計画（令和6年度～）に課題として記載はあるが、実施できてない。 ・令和8年度から新規。 ・社会的包摂（一人も取り残さない教育）→中教審の答申・議論に記載。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人との学習機会の提供を図る。 ・多文化共生による地域力の強化につなげる。 <p>②リーダースクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供から大人まで循環的に人材を育成することを目標。 ・3年前から小学生～高校生対象の自然体験学習を継続。 ・今年度は6月20日に宿泊体験学習を実施し、ジュニアリーダーに必要な知識習得と地区間交流の機会を提供。 ・キャンプ学習では参加者の企画をブラッシュアップして実施（昨年度は街中宝探しで自発性を育成）。 ・昨年度はクリスマス会を開催し、参加者の「やりたい」を実現する場を提供。 <p>③郷土資料・文化財の保管・展示方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女満別研修会館建替えに伴い、2階保管の郷土資料の移動・保管が必要。 ・文化財保護審議会委員の武田氏（元学芸員）と協力し、大空町にふさわしい展示方法を模索。 ・全体方針として、教育委員会全体で保管場所・展示方法を検討する方針が示され、破損品・重複品の整理・一部廃棄は審議会で継続審議。 ・ふるさと資料館・山園ふるさとセンター・女満別研修会館等の大量資料は社会教育センターへ集約想定。 ・文化財以外を含む郷土資料の「収集・保存・展示」基準は未整備で、町の産業・歴史を網羅する包括的基準設定を求める意見あり【竹内委員】。 <p>結論：個別審議を継続しつつ、全体方針・明確な基準は今後検討（未決）。</p> <p>④社会教育センター（旧大空高校女満別キャンパス）の改修・活用と事務所機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度開始の新規事業として、大空高校女満別キャンパスを社会教育の拠点施設に改修。 ・社会教育グループ事務所等校舎棟、体育館・格技場、屋外施設を整備。2階に点在文化財の保管・展示を集約。 ・改修工事は建築主体・電気設備・駐車場整備の3本立て。 ・建築・電気設備は5月入札完了、工期は10月末目標。11月に事務所移転・稼働開始予定。 ・駐車場は6月に発注し早期完了を目指す。 ・研修会館2階の社会教育事務所は令和9年度に解体予定のため、改修後
--	--

	<p>施設で事務所機能を継続利用する計画。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場整備とマナー改善: ・ 現状、体育館・校舎棟前で乱雑駐車。右側奥の既存駐車場は未活用。 ・ 国道側前面の芝生・樹木の一部を表土撤去・砂利敷きで駐車場化する案を計画中。管理・案内強化で不適切駐車 of 改善を狙う。 <p>結論: 国道側前面の新規駐車スペース化で整備計画を進行(発注6月)。</p> <p>⑤オリンピック事業とB&G施設改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツを楽しむ環境づくり: ・ 子供から大人まで運動機会を提供。 ・ 2026年7月にバスケットボールの折茂氏を招き、講演会と実技指導を予定。 ・ B&G海洋センターの修繕: ・ B&G財団助成金を活用して修繕を実施中。 ・ 来年度(令和9年度)にアリーナ・プール改修を計画。 <p>⑥部活動の地域移行とクラブ活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度まで学校教育グループ所管の事業を、今年度から社会教育グループが担当。 ・ 地域移行に伴い、地域展開したクラブも担当する制度を設計。 ・ 令和7年度から準備が整った種目・競技から地域クラブ化を進める方針。 ・ 地域クラブ活動支援事業として2クラブを支援。 <p>⑦湿生植物群落の保全事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 植生調査を継続し保全策を検討。 ・ 令和7年、検討委員会から2か所の湿生植物群落に排水設備設置の提言。 ・ 令和8年度に工事を実施し、設置後3年間の経過観察を予定。 <p>⑧インクルーシブな社会教育事業(モルック)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度町民大会は57チーム・250人超が参加。子供・高齢者・女性の参加がありインクルーシブ効果を確認。 ・ 9月12日のオホーツク管内社会教育振興セミナーで、モルックの世界チャンピオンを招き、事例発表・体験プレイ・講評を計画。 ・ 交流促進のため、混成チームプレイ、グループディスカッション、事業計画ブラッシュアップを構想。 ・ 6月28日の町民大会への参加促進を行い、各団体・学校教員チームなど多様な参加を呼びかけ。 <p>結論: モルックを核にした交流・学びをセミナーに組み込み、町のイン</p>
--	---

	<p>クルーシブ教育の事例発信と参加拡大を目指す。</p> <p>⑨社会教育委員の令和8年度活動予定・事務手続き 年間予定：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月8日：オホーツク管内社会教育連絡協議会（北見市）役員会・総会に委員長等が出席済み。 ・7月16-17日：北海道市町村社会教育委員長等研修会（札幌市）に委員長出席予定。 ・9月12日（土）：オホーツク管内社会教育振興セミナーを大空町で開催。委員で役割分担し運営予定（参画期待数16名）。 ・11月7日：北見網走地区社会教育委員研修会（斜里町）参加期待数4名（内容未定）。※佐藤校長参加予定 ・11月12-13日：稚内での2日間研修、参加期待数2名（事務局が送迎調整）。※大井委員長参加予定 <p>⑩事務手続き：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準報酬の口座振替案内書を配布。支払い予定は2026-06-19。 ・新任委員はマイナンバーと口座振替依頼書の提出が必要。継続委員で口座変更希望は連絡・書類提出。 <p>結論：期日までの提出・手続きの周知を実施。</p> <p>⑪豊住交流センターの今後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏場の利用はほぼなく、冬場は卓球でのみ利用。 ・年間約1000万円の経費がかかり、施設は老朽化が激しく体育館・校舎側の雨漏りが深刻。修繕には5000万円以上の見積。 ・地域自治会長には現状説明・協議済み。 ・地域スポーツクラブの少年団活動が令和7年7月で解散し、定期利用はさらに減少。 <p>課題：存続・廃止の具体的結論やスケジュールは未決。</p>
--	---